

わ げん あい こ
和顔愛語

2009
VOL.13

 真生会富山病院だより



患者様お一人おひとりを大切に

看護部特集

安全と安心して頂ける看護 スタッフを大切に育てる環境があります。

看護部理念

私たちは、人命の重さを強く自覚し
常に患者様の立場に立って、
患者様の安全と安心して頂ける看護に
誠心誠意努めます。

患者様に寄り添い、支えられる看護を実践します。

看護部は、患者様に寄り添った看護を通して、
やすらぎと温もり、安全で安心できる医療・看護を提供します。

お一人おひとりを尊重した環境に努めます。

私たちは、患者様お一人おひとりを尊重し、
心を支えられる明るく快適な環境づくりに努めます。

看護の仕事に誇りを持ち、常に自己研鑽に努めます。

やりがいと誇りをもって、看護の質の向上を図り、
患者様に信頼され、満足して頂けるよう自己研鑽に努めます。

《真生会富山病院 理念》

仏法に説かれている自利利他の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

救急診療・全科往診・在宅診療など

地域医療を支える、安全で質の高い医療、やすらぎと温もりのある看護サービスを創造しています。



●糖尿病教室 まつだ まりこ 松田 真理子

医師を始め、看護師・薬剤師・栄養士・検査技師・理学療法士が連携し「患者様参加型」糖尿病教室を目指しています。栄養士による食事についてのグループワークや、理学療法士との体操、看護師と一緒に足の手入れを行うなど生活に即した体験を行います。

また、患者様に体験発表をして頂く機会もあり、発表された方の自信につながり、聞かれた方の勇気や希望になっています。そんな患者様の笑顔が、教室を運営してよかったと思う時です。



●地域医療部 のうまち さゆり 能町 小百合

医療改革の進み中、地域医療機関の連携や機能分担を推進する必要性が問われております。当院も急性期病院として患者様により良い医療環境を提供できるように、地域医療部を設け、療養に伴う経済・社会・心理的な心配、不安など、看護師、ソーシャルワーカーが相談をお受けし、解決策のお手伝いをしています。どんな小さなことでも、お気軽に声をかけてください。



●健康相談 かめやま さちよ 亀山 幸千代

月1回、保健師が中心となり、総合案内前の待合で健康相談を行っています。内容は生活指導、禁煙相談、健診受診勧奨など、様々です。ご自身の健康管理、病気予防に対して関心を持たれるきっかけになればと思います。話してよかった、楽になった・と思っていただけるようこれからも努めていきたいと思っています。



●NST(栄養サポートチーム) うえはら ひろみ 上原 博美



NSTチームは、患者様それぞれの病気や治療内容に応じて、適切に栄養管理を行うことを目的に、医師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、臨床検査技師、薬剤師で栄養について検討する実践チームです。同じ病気を持った人でも年代や病状、活動度によっても必要な栄養量が違ってきます。また、病棟看護師としても、安心して在宅療養へスムーズに移行できるよう、退院調整と並行して、役割を發揮していきたいと思ひます。

●ICC(院内感染対策委員会) しょうじ のぶえ 庄司 伸江

ICCは医療関連感染対策を推進しています。定期的に院内ラウンドを行い、清潔な環境が保持されているか、廃棄物の処理や物品管理が適切にされているか、手洗いや手指消毒、防護具の着用など標準予防策が行われているか、実態調査などを行っています。

患者様により質の高い、安全で安心な看護の提供に専念できるよう今後も感染対策に取り組んでいきます。



●褥瘡対策委員会 じょくそう かわさき はなこ 川崎 華子

医師・病棟看護師・栄養士・事務職員から成り、それぞれの専門的な知識や技術を集結し褥瘡対策に努めています。褥瘡回診では、その患者様に応じたケアや褥瘡治療促進のための処置などをはじめ、適切な体圧分散寝具の選択を行います。褥瘡予防、褥瘡の早期治療は大変重要です。

褥瘡対策を通して看護の質の向上に努めていきたいと考えています。



●医療安全 やこ みちこ 野吾 みち子

医療安全委員会では、職員からのインシデント報告の原因を分析し、対策検討を行っています。

また、再発防止のために、院内ネットワークを使い、速やかにフィードバックを行い、共有しています。医療を取りまく状況が変化している今日ですが、常に問われるのは「医療の質」と「健全経営」。選ばれ続ける医療機関を目指し、事故防止、安全管理体制を整えた組織づくりに取り組んでいきたいと思ひます。





良質な医療サービスを支える エキスパートナースの育成と チーム医療を推進しています。

●わかば病棟 きたやま まちこ 北山 真知子

わかば病棟は、外科系の主に手術を受けられる患者様が入院されています。病棟は2チームに分かれており、手術前後の看護を中心とした「周手術チーム」と、リハビリ、社会復帰に向けての「リハビリチーム」に分かれているのが特色です。各チームは看護の質の向上を目指した目標を持ち、日々取り組んでいます。また、病棟一丸となって、入院から、治療、手術、退院後の生活までの長い目で患者様をサポートできるよう努めています。スタッフからは、ドクターへの報告、相談が積極的になされており、明るくて活気のある病棟です。

●さくら病棟 いのうえ ゆかり 井上 由香里

さくら病棟は主に内科系の検査・治療・生活習慣の改善を目的に入院してこられる患者様がたくさんおられます。

痛みを伴う治療・検査、生活習慣の改善に向けての教室参加など患者様にとって決して楽ではない状況の中、「あなたがいてくれるだけで元気になります。ありがとう!!」と声をかけて頂くたびに、「もっと患者様のためにがんばろう」と意欲がわいてきます。



患者様とあなたを支えます。 看護チームをパワーアップ!

●訪問看護ステーション ころ ころ

かわすじ ひろみ
川筋 博美

訪問看護とは何かご存知でしょうか？高齢化が進むにつれて在院日数が短縮されています。それに伴いターミナルケアが必要な患者様、重度心身障害者、認知症、難病など様々な病状を抱えた患者様が不安を持ちながら在宅へ移行されます。それらの方々が住み慣れた場所で安心して、自分らしく暮らせるよう看護師が自宅に伺い、専門知識と技術を持って必要な看護サービスの提供を行ってまいります。



看護師のある一日

準夜勤 さかい やすこ 酒井 保子



16:30 申し送り
日勤看護師から引き継ぎ、今日のケアに活かします。



18:00 食事介助
19:00 状態観察
検温しながら患者様の声に耳を傾けます。

時には緊急入院があります。

1:15 勤務終了
大浴殿「立山の湯」で疲れを癒します。

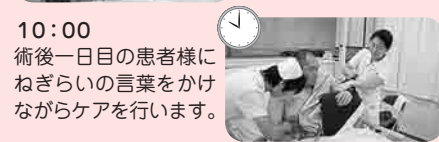


帰宅

日勤 ふかや かおり 深谷 香織



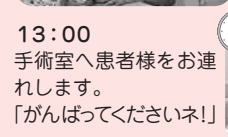
9:00
受け持ち患者様の注射の準備は確認を重ねます。



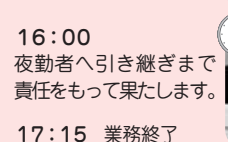
10:00
術後一日目の患者様にねぎらいの言葉をかけながらケアを行います。



12:00 お昼休憩
子供の話題など話はずみです。



13:00
手術室へ患者様をお連れします。
「がんばってくださいネ!」



16:00
夜勤者へ引き継ぎまで責任をもって果たします。

17:15 業務終了

深夜勤 やまもと ともこ 山本 智子

0:00 出勤
準夜勤の看護師より申し送りを受けます。



2:00 巡視
4:00 巡視
患者様の状態観察やオムツ交換など行います。



8:30 申し送り
患者様の情報を収集し引き継ぎます。



9:15 深夜勤務終了

●手術室 ^{あけもと けいこ} 明元 佳子

手術室は最先端治療を間近に感じる大変充実感のある部署です。年間2500件余りの手術を看護師11名と看護助手の協力により対応しています。手術に際しては、確かな知識と技術で安全にスムーズに進行するよう努めています。

また、医師や患者様の要望に応えるアイデンティティぞろいでもあります。術前術後訪問を通じて患者様や家族が安心して手術に臨み、ご満足頂ける看護をチーム全体で行っていききたいと思います。



●手術室 ^{さわやま のりえ} 澤山 典江

人は自分の体にメスが入るといった瞬間からどれだけの不安と恐怖を抱くでしょう。その不安を少しでも緩和し、安全に安楽に手術が受けられるよう工夫するのが私たちの役割の一つです。「手術室では演歌を流してください」と要望される患者様もおられます。

術前訪問で患者様の思いを受けとめ、「この病院で手術をして本当に良かった」と思って頂けることが何よりの喜びです。



●透析室 ^{えいぜん きよみ} 越前 清美

当院で透析治療が開始されもうすぐ2年になります。当初は午前だけでしたが、現在は午前・午後の2クール体制となり、患者様の人数も5倍に増えました。今では透析教室も開催することができました。始まったら長い付き合いになる治療であり、自己管理が重要です。患者様を始め、家族の方も一緒に透析について理解と協力を呼びかけていきたいと思っています。



●内視鏡室 ^{こもり ちえ} 小森 智恵

内視鏡室では、胃内視鏡をはじめ、専門的なESD(胃粘膜剥離術)まで行っています。患者様の緊張を少しでも和らげるため、問診時からゆっくりと応対し、声掛け、タッチングを行いながら安心して検査を受けていただけるよう努めています。私はこの病院で「和顔愛語」という言葉に出会いました。一人一人忙しい中でも優しい笑顔と温かい言葉を念頭に仕事に励んでおり、とても働きやすい環境で仕事にやりがいを感じます。これからも相手に対する思いやりの心を大切にしていきたいです。



チーム医療体制。
専門知識を極め、

●内科外来 ^{まつざき ひかり} 松崎 光

内科外来のスタッフは、診療のコーディネーター的な存在だと考えています。スムーズな診療には事前の問診が重要なのでお話をよく聞き症状に沿った診療科をお勧めします。場合によっては緊急の対応が必要であるかの判断も求められるため、病気と関連づけて問診をする事は難しいですが、少しでも診療の参考となるよう聴き上手・質問上手でありたいと思っています。

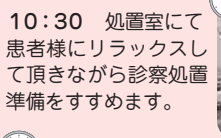


看護師のある一日

整形外科外来 ^{すずき かなこ} 鈴木 加奈子



9:00 外来診療開始
患者様を診療室でご案内しています。



10:30 処置室にて患者様にリラックスして頂きながら診察処置準備をすすめます。



11:00
注射準備をしています。

12:30 午前診療終了
外来は午前と夕方診療体制の為、昼休み(12:30~16:00)は自宅や休憩室でゆっくり過ごします。

16:00 外来会合
最適な看護の提供について意見交換を行います。

16:30~20:00
外来夕方診療後帰宅



手術室 ^{はせ ますよし} 長谷 益克



8:00 出勤
気を入れて「今日も一日がんばるゾー！」



AM
手術ベットへ移動
安心して手術を受けて頂くため、やさしく声をかけながら。

12:30 手術中
医師のアシスタントとして呼吸を合わせます。



17:00
終礼と遅番スタッフとの引き継ぎ。



今日一日をふり返ります。

訪問看護ステーション ^{とうじょう} ころ 東條 かわり



9:00
安全運転で患者様のご自宅へ。

一日に4軒ほど訪問します。



AM
まず、状態観察を行い必要なケアを行います。



処置が終わると車椅子に移動し、お庭をみながらお話しします。

16:20
ステーションに戻り患者様の情報を共有します。夜間の呼び出しに備えて「ころ専用の携帯電話」を持って帰宅。



ワーク・ライフ・バランス

職場環境の充実を図り、働きやすさを支えます。

ワーク・ライフ・バランスを実現するため、準正職員制度、パートタイマー、短時間勤務の導入など多様な勤務形態に積極的に取り組んでいます。子育て支援、リフレッシュ休暇、教育研修体制の充実など、安心して働くことができます。



和顔茶会



病棟コンサート



フレッシュセミナー



秋の職員旅行



木の子ハウス お迎え風景

「お母さんのためのリフレッシュ日」には
子供を保育してもらい、
リフレッシュをはかっています。

出産後はパートとなり、現在は朝から夕方までの時間で勤務しています。当院では、正職員、準正職員、パートと選べ、勤務時間も相談させてもらえます。託児室「木の子ハウス」は病院の敷地内にあるので、自分が仕事をしている間も、子供がそばにいる安心感があり、何かあれば当院の小児科へ受診できるので大変助かっています。

また、託児室では、月に1回「お母さんのためのリフレッシュ日」を取ることができ、自分の休みの日に、子供を保育してもらい、リフレッシュをはかることもできます。

今は子供が小さいので、風邪をひいて休ませてもらうこともありますが、温かいスタッフに恵まれ、応援体制で助け合っています。

真生会富山病院で働き始めて12年が経とうとしています。ずっとここで働き続けられるのは、優しいスタッフとライフステージに合わせて働ける体制が整えられているおかげだと思います。これからも看護師として成長していけるようがんばります。



ふかうら ひろみ
深浦 宏美
(内科外来/パート)

院内保育施設「木の子ハウス」

「つよく、たくましく、のびのびと」をモットーとし、心身ともに、強くたくましく心豊かな子供の育成を目指し、一人ひとりの心身の発達段階にそった保育をめざします。

〈特徴〉

- 幼稚園児・学童児の長期休み保育(春季・夏季・冬季)
- 6カ月～小学5年生の学童児まで対象
- 勤務時間に合わせた24時間保育

〈年間行事〉

- 動物園に遠足
- 海王丸へ遠足
- 学童児宿泊学習1泊2日(小学1年～5年生)
- ぶどう・りんご狩り遠足
- 研究発表会 など





無理せず、今できること

さかい あきこ
酒井 明子(わかば病棟勤務)

育児と仕事の両立は自分自身との戦いでもあります。子供の病気で欠勤するたび、仕事を続けていけるだろうかと悩みます。しかし、職場の上司やスタッフの理解があり、励まされ、今日まで仕事を続けることができました。私が日頃から心がけていることは、「無理をせず、今できる最大限の力を発揮する」ということです。看護師不足の中、少しでも社会に貢献できるように頑張らましよう。



あたたかい環境で一緒に

くろさわ きみこ
黒沢 季実子(看護学生)

私は看護師になるため、看護助手として働きながら専門学校へ通っています。勤務と授業・実習で学んだことがお互いに役に立ち、学びが深められていると思います。真生会は患者様の安心・満足のために、患者様とはもちろん、職員同士の間関係やコミュニケーションを大切にしています。是非このあたたかい環境で、たくさんの方と一緒に働きたいと思います。



挨拶を心がけて

もりた あかね
森田 茜(透析室勤務)

真生会に勤務してまず驚いたことは職員同士の挨拶でした。笑顔で気持ちよく職員同士が挨拶している姿や、職員心得講習会では「挨拶」についての講習を聞き、挨拶でどれだけ人の気持ちが和むのかわかることができました。そして、院内だけでなく日ごろから挨拶を心がけることでよい人間関係が築いているのだと感じました。就職を考えている方、ぜひ一緒に楽しく働きませんか。



院内研修が充実

うめた かよこ
梅田 加洋子(外来/内視鏡室勤務)

日進月歩する医療の中、必要とされる知識は自己学習で得ることが難しく、忙しい日常業務の中で研鑽していくにも限度があります。知識・技術の向上には、自ら学び続ける姿勢と努力、周囲の理解と協力が重要と考えますが、当院は研修・院内セミナー・講習会と病院全体で学ぶ機会が多いと感じています。真生会は、安全・安心・満足の看護に尽力できる職場だと思います。



助け合って働ける環境

きのした まゆ
木下 真悠(わかば病棟勤務)

再就職したいけれど子供をみてくれる人がいませんでした。そんな私にとって、真生会の託児室「木の子ハウス」はとても強い味方でした。一緒に働くスタッフにも小さな子供を抱えている人が多く、助け合って働ける環境がとても気に入っています。仕事と子育ての両立で悩んでいる方、真生会富山病院はそんな方にとって働きやすい職場です。



患者様の立場に立った看護を

おおた みゆき
太田 美由起(さくら病棟勤務)

看護師2年目から真生会富山病院で働いています。入職当時は、看護技術にも自信がなく、未熟な私でした。しかし、先輩看護師のあたたかな指導、見守りにより、看護技術にも、自信がついてきました。これからも、看護師として患者様の立場に立った看護をお届けできるよう頑張っていきたいと思っています。



ありがたい言葉があふれて

あんどう きょうこ
安藤 京子(看護助手)

真生会に勤務して感じる事は「ありがとうございます」の言葉がまわりにあふれていることです。いつの間にか自分もよく口に出していることに気づきます。みなさんにも、感謝の言葉に素直に応じられるすばらしさを感じて欲しい、患者様に安心と満足を与え、お世話をさせていただく喜びを感じて欲しいと思います。「和顔愛語」の精神で、働く喜びを感じていただけたらと思います。



雰囲気の良い職場

やなぎの めぐみ
柳野 恵(わかば病棟勤務)

真生会に勤務してびっくりしたことは、名前も知らない職員が笑顔で挨拶してくれたことでした。初めは笑顔で挨拶することが苦手でしたが、今では自然にできるようになり、よい習慣が身についたとうれしく思っています。まず、職員同士が笑顔で挨拶することで雰囲気がとても良くなります。働きやすい環境であることに感謝しています。



看護師として成長したい

ながひさ えいこ
長久 栄子(緩和ケア認定看護師教育課程受講中)

私は今、日本看護協会神戸研修センター「緩和ケア認定看護師教育課程」で学んでいます。国民の3人に1人が「がん」に罹患し、がんと共存する時代と言われます。より専門的な知識や技術を習得することで、がんと共に生きる人、またご家族を見守り、支えられるような、温かい看護をお届けできればと思っています。当院に就職して12年になりますが、「看護師として成長したい」という気持ちをいつも応援し、支えてくれる病院です。



看護師になって真生会で働きたい

なかみち ゆうこ
中道 裕子(看護学生)

看護助手として勤務し8年が経ちます。たくさんのお客様と接する中、以前より憧れていた看護師になりたいという思いが強くなりました。そして40歳を越えた今、看護学校に進学する一大決心をし、働きながら通学しています。学校・家庭・仕事の両立は大変ですが、「看護師になって真生会で働きたい」という夢があるので頑張れます。常にお相手の立場に立って考えられる看護師を目指します。



仲間と一緒に勉強

おくの えりこ
奥野 恵理子(内視鏡室勤務)

看護部には、移行教育で頑張っている正看護師の免許を取得した先輩がたくさんいます。辛く、くじけそうになることもありますが、一緒に勉強している仲間がたくさんいるため、わからないことも相談でき、励まされています。試験期間など、休みも配慮していただけるので応援してくれる病院、一緒に働くスタッフにはとても感謝しています。



日々たくさんの方のことを学びます

きゅうご のりこ
久古 宣子(看護助手)

真生会に勤務し11年になりますが、日々、たくさんの方のことを学んでいます。職員信条の中に「真生会職員は、和することをもちて尊しとします」とありますが、「和すること」の厳しさや難しさ、喜びを知らされました。毎日の気持ちの良い挨拶に始まり、気持ちの良い挨拶で仕事を終わらせる環境で働けることが、私の明日への活力になっています。

患者様から親しまれ 信頼される看護をめざしましょう。

さか い たか こ
看護部長 酒井 貴子



病院の理念に基づき、看護部は必要とされる看護を常に考え実践することを目指し、努力しています。看護は無限であり、お一人おひとりにお届けする形は違います。看護師一人ひとりが、健康回復に向けて自己の持てる力を十分活用できる助力・貢献できる人材の育成をめざしています。卒後1年間はプリセプターナースによる支援を受け、さらにチームでサポートする体制をとっております。チーム医療の中で看護部門の果たす役割は重要です。

私たちと共に自分の能力を最大限発揮し患者様から親しまれる看護師を目指し、信頼される看護をめざしていきましょう。四季折々の自然あふれる立山連峰が見える環境で、皆様をお待ちしています。

看護師のキャリアと生活の両立を実現する「ワーク・ライフ・バランス」の向上のため働きやすい環境作りを行っています。
また、充実した看護教育システムで、新卒の方や、ブランクのある方も安心して働くことができます。
「安全と安心を提供できる質の高い看護の実践」を目標に、
私たちと一緒にあなたの経験を生かしてみませんか！

- 募集人数 / 10名程度
- 応募資格 / 看護師・保健師(取得見込み者を含む)
- 応募方法 / 履歴書(写真貼付)を郵送またはご持参ください。後日、連絡致します。
- 選考方法 / 面接、小論文
- 勤務時間 / 1) 病棟勤務(3交替・休憩45分) 日勤8:30~17:15 準夜勤16:30~1:15 深夜勤0:30~9:15
2) 外来勤務(2交替) ①8:30~12:30 16:00~20:00 ②8:30~17:15(休憩45分)
当直16:30~翌9:00(仮眠4時間)
3) 手術室 変則8時間勤務+オンコール
4) 訪問看護 8:30~17:15(休憩45分)+オンコール
- 休日 / 週休2日、有給休暇、リフレッシュ休暇2日、年末年始休暇
- 給与 / 基本給 260,000~329,000円 その他 各種手当あり
- 昇給等 / 昇給 年1回・賞与 年2回
- 保険等 / 雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金加入・財形貯蓄あり・退職金制度あり
- 勤務環境 / 産前産後休業制度・育児休業制度・育児短時間勤務制度あり
託児施設あり(休日 夜間 保育あり) 制服・シューズ貸与・他

● お問い合わせ・お申し込みは
TEL 0766-52-2156 E-mail recruit@shinsekai.jp
真生会富山病院 総務部 吉田まで



外観

アイセンターと眼科看護の充実を

かなやま あき こ
あやめ病棟 金山 明子

眼科看護の充実、現状課題を改善できる体制づくりを目指し、取り組んでいます。眼科は手術後の入院期間が短く、視力回復に対する不安を抱えたまま退院を迎えるケースもあります。そのため術後経過をよく理解して頂けるようご説明するとともに、不安や苦痛の軽減をいかに図れるかが看護師の役割の一つです。県内外から来られる患者様やご家族に信頼される看護を提供できるよう努めていきたいと思っております。

